



岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY



OKAYAMA UNIVERSITY

グローバル人材育成特別コース

GLOBAL HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

本学は2017年12月26日、第1回「ジャパンSDGsアワード」の特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しました。
SDGs達成に向けた岡山大学の取り組みの一つとして、グローバル人材育成特別コースにおける「グローバルで活躍し、SDGs目標を実現できる人材の育成」を挙げています。

グローバル人材育成特別コースで身につける!

豊かな**国際感覚** **Creative**な思考

実践的で**Global**な視点

Worldwideに活躍!

世界が求める**逸材**へ!

グローバル人材育成特別コースでは、学部での専門教育をベースに、海外体験を組み込んだ特色ある独自のプログラムにより、グローバル社会のリーダーとして実践的に活躍できる人材育成に取り組んでいます。

将来グローバルに活躍できる人材育成をめざしたこのコースでの学びを通して、豊かな国際感覚とグローバルリーダーシップが育まれることにより、本コースから岡山大学が認定する「高度実践人」が多数選ばれています。

世界中で活躍できる
リーダーシップに必要な
5つの能力を育む

教養

地域文化・日本文化
に対する深い理解と
アイデンティティ

精神力

グローバルな
社会を牽引する
気概

会話力

高度な外国語力と
コミュニケーション力

洞察力

グローバルな
社会変動の
実態を洞察する力

専門性

固有分野における
高度な専門知識

入学から修了まで

入学

語学力チェック

入学者一斉テスト

申請

4月中旬締め切り

選抜

コースでの学び

修了



学部に所属しながら学べる国際色あふれるプログラム

教養・専門

所属学部の
カリキュラム

異文化とともに自分の国を知り、SDGsに関連する多彩な授業で、世界が抱える課題やグローバル社会の在り方を学び、コミュニケーション力を養う。

サマー・スプリング スクール

語学研修や異文化体験など
短期プログラム

英語力養成 プログラム (SPAcE)

英語でのディスカッションやプレゼンテーションを取り入れたネイティブ教員中心の授業で、海外留学に必要な語学力を鍛錬。社会問題を英語で議論。グローバルな視野を身につける。

グローバル・ コア科目

海外留学・ インターンシップ

交換留学や
インターンシップ など

個々の学修計画に応じて多様な形式で、留学やインターンシップ、国際会議や国際交流に挑戦してグローバルリーダーシップを育む。

学部・学科型プログラム

グローバル人材育成特別コースでは、2019年度から専門性を重視した教育プログラム「学部・学科型プログラム」も実施しています。上記プログラムと合わせて学ぶことも可能です。詳細はグローバル人材育成院ホームページをご参照ください。

かがやく先輩の声



ぬの 布 ころ

グローバル人材育成特別コース第9期生
グローバル・ディスカバリー・プログラム
2021年入学
愛媛大学附属高等学校出身

シェフィールド大学(イギリス)留学
One Young World Bath Caucusバース
大学(イギリス)に参加
One Young World 2023 ベルファスト
大会に日本代表として参加
岡大メディアOTDや留学準備デスクの
スタッフなど多数の活動に参加

国際外交に関心が高く、海外留学やユースサミットを希望していた私は、英語力を磨きながら、世界で起こる問題の背景やさまざまな価値観や考え方を学べるカリキュラムに惹かれて、このコースなら自分のやりたい学びや活動ができると思い選びました。

実際に留学準備として役立つ授業も多く、例えば英語でディスカッションする授業では、SDGsに関連する国際的な課題をテーマに、ネイティブの先生のフレンドリーな指導の下、留学を志す仲間たちと一緒に意見を交わします。この経験によって、イギリスに留学した際には、ためらうことなく自分の意見を述べることができました。

世界中から学生が集まる留学生活では、議論だけに終わらず積極的に行動に移す彼らから大きな刺激を受け、国際社会の一員としてアクションを起こすことの重要性に気づかされました。そして留学で得た学びや視点、取り組んできた活動の成果が実り、One Young World Summitへの参加へとつながりました。

これからもコース生だからこそ得られた他学部の友人や卒業した先輩方とのネットワークを活かしながら、自分の夢である「岡山から世界へのアクション」を起こしていきたいと思います。



外国の友人たちと交流する留学生活は刺激満載！自分の成長も実感！



OYWにて平和構築を語った講演者と意気投合！

仲間との出会いが チャレンジのモチベーションの源泉

たくさん仲間と出会い、さまざまな経験をしたいと思ふれる大学生生活は、間違いなくこれまでの人生で最も充実していたと感じています。特にこのコースでは、学部や学年を超えた出会いを通して、いろんな価値観に触れることができました。もつと様々な人と関わりたい、新たな視野を持ちたい、何かチャレンジしたい、そんなモチベーションの源泉にもなっていたと思います。

留学だけで終わらせない チャレンジして得られたものとは

1年生では先輩たちと途上国支援プロジェクトのための学生組織の立ち上げに取り組み、リーダーシップの大切さを学びました。

約8ヶ月間のエディンバラ大学への留学では、海外での生活環境や言語に苦労しながらも多くを学び成長することができました。

印象深いのは留学後に参加した『次世代リーダー・グローバルサミット One Young World 2019』です。



まつもと そうた 松本 颯太

グローバル人材育成特別コース第5期生
法学部法学科 2021年3月卒業
広島県立三原高等学校出身

卒業後の進路 JICA 独立行政法人国際協力機構

エディンバラ大学(イギリス) 留学
One Young World 2019 ロンドン大会
日本代表団として参加
One Young World Tokyo Caucus
アンバサダーとして運営に参加
岡山大SDGsアンバサダー
留学準備デスクスタッフ
HultPrize2020 参加

<受賞歴>

岡山大黒正賞受賞、岡山大金光賞受賞

ロンドンで開催されたこの国際会議には、世界190カ国以上から若者が集いました。数々のワークショップやイベントでは、自分には想像すらできないような壮絶な経験をした参加者と出会い、多様な価値観をリアルに感じる場面もあったので、大きな刺激を受けると同時に「自分ができること」「自分だからこそできること」は何だろうと必死に考え抜く時間を過ごし、主体的な視野も広がりました。

グローバルな経験をしたからこそ 気づいたこと

卒業後の進路として選んだのは国際協力の分野です。数々のグローバルな経験をしたからこそ気づいた「日本の社会課題」というローカルな興味に取り組むべく、途上国と日本が互いに裨益するような双方向的な国際協力を追求していきたいと思っています。みなさんもうるんな人と出会って世界を広げて、思う存分チャレンジしてみてください。



前例がなくても 諦めずに挑戦すること

このコースでお互いを刺激しあえる仲間と出会ったこと、そこから幅広い国際的な活動へと繋がっていききました。

『TABLE FOR TWO』(TFT)を岡山大に導入した活動は、当時1年生だった僕にとって大きな経験になりました。

「先進国では健康的な食事を提供し、その料金の一部を寄付金として開発途上国へ給食費を届ける」という取り組みに感銘を受けた僕は、賛同してくれた仲間とともにアイデアを生み出し、準備と交渉を重ねました。その結果、多くの方々の協力を得て岡山大にTFTを導入することができました。

僕にとっては次々と経験を積み重ねていく過程そのものを新鮮で楽しめたと感じながら取り組んだので、諦めずに挑戦できたのかもしれない。

コロナ禍で取り組んだ日米学生会議でさらに世界が広がった

3年生でフランスへの留学を予定していましたが、コロナ禍に見舞わ

なかざわ たくや 中澤 拓也

グローバル人材育成特別コース第6期生
経済学部経済学科夜間主コース 2022年3月卒業
岡山県立倉敷天城高等学校出身

卒業後の進路

岡山大大学院ヘルスシステム統合科学研究科進学

日米学生会議、筑波会議に参加、岡山大SDGs アンバサダー、駐大阪・神戸米国総領事館 Consul General's Youth Council、ESD 日本ユース、TABLE FOR TWO University Association (TFT-UA) 中四国支部代表などを務める

<受賞歴>

岡山市「第5回おかやま協働のまちづくり賞」奨励賞受賞
岡山大SDGs推進表彰 (President Award) 優秀賞受賞

れて留学は中止となってしまいました。さすがに落ち込みましたが、それでも諦めきれなかった僕は、「第七十二回日米学生会議」に挑戦しました。

この会議では日米から選ばれた学生が昼夜を問わず多様なトピックを議論します。世界的な課題に対する自分の理解不足や日本のことすら十分に知らないことを痛感しましたが、「本音での対話」を思う存分出来たことは、かえがたい経験となり、留学の機会を失った僕にとっては、英語力の向上を実感できる機会にもなり自信が積みま

留学は大学院進学後の夢へ

大学院では新しい分野での研究に進みつつ、いつか留学の夢も叶えたいと願っています。

コース出身者の活躍の場は広がっています
<進路状況>

外務省ほか官公庁、地方公務員、公立高等学校教員、病院、JICA、三井物産、川崎重工業、日揮ホールディングス、住友化学、パナソニック、日本ヒューレット・パカード、ヘルシンキ大学大学院進学(フィンランド)、岡山大ほか大学院進学 など

専門分野の異なる友人から 新たな考え方を学べる楽しさ

私が岡山大学への受験を決めたのはこのコースの存在でした。コースは様々な学部の学生から構成されるので、自分の所属学部以外の友人もたくさんできました。

自分から提供した話題に対して友人たちはそれぞれの専門領域から新しい切り口や視点を与えてくれました。

みんなで切磋琢磨しながら過ごせた時間はとても楽しくて大切な思い出です。

「海外から日本をみる」

留学して気づいた新たな視点

アメリカへの留学では、世界中から英語を学びに来た人との出会いがありました。留学で感じたのは異文化を理解するためには、自分自身と自分の国（日本）について「知るこゝ」の大切さでした。

コロナ禍で取り組んだSDGsの活動

SDGsに取り組むきっかけとなったのもコースの授業でした。国際社会が抱える問題を自分の身近な課題として考えるよう



たまさき あおい
玉崎 葵

グローバル人材育成特別コース第5期生
医学部保健学科看護学専攻 2021年3月卒業
広島県福山曉の星女子中学・高等学校出身

卒業後の進路 看護師（医療機関勤務）
ダラスバプティスト大学（アメリカ）留学
岡山大学SDGs アンバサダー、HultPrize2020参加

<受賞歴>

岡山大学SDGs推進表彰(President Award)奨励賞受賞
岡山大学医学部保健学科長賞・ボランティア貢献賞受賞

になり、留学後は岡山大学SDGsアンバサダーに参加、SDGs達成を目標とする世界規模のビジネスコンテストHultPrizeの岡山大学大会にも挑戦し、食の問題を考えるビジネスプランにチームで取り組みました。

コロナ禍になってからは社会的な気概もあり、SDGsへの意識が高まることも、コースの友人たちと話題にすることもありました。看護実習を経験した私は、実習服を再利用することはできないかと考え、製造先の企業にアイデアを相談したところ、実用的な『アルコールインポシエット&ポケットインポケット』へのリメイク企画が実現しました。この活動は、今後も全国に拡がっていくよう後輩が引き継いでいます。私は大学4年間で、学部の勉強はもちろんです、部活、アルバイト、課外活動、趣味：様々なことに貪欲に取り組むことが出来ました。それもこのコースの友人たちから刺激を受けたからで、今後も繋がりを大切にしていきたいと思っています。



みやもと たいき
宮本 大輝

グローバル人材育成特別コース第5期生
工学部電気通信系学科 2021年3月卒業
山口県立下関西高等学校出身

卒業後の進路
岡山大学大学院自然科学研究科進学
在学中に株式会社TechSwordを共同創業

ロードアイランド大学（アメリカ）留学
Tsukuba English Model United Nations (TEMUN) 参加
National Model United Nations(NMUN)NY 参加
第64回国際学生会議実行委員
日本国際学生協会（I.S.A.）会長を務める

<受賞歴>

岡山イノベーションコンテスト2020
ビジネスプラン部門 大学・専門学生の部 大賞受賞

英語力を伸ばしたい 挫折と自信の繰り返し

このコースの存在を知って理系ながら英語が一番得意だった私は迷わず応募しました。いざ授業が始まると英語ができる人ばかりで落ち込みましたが、ひたすらDICTATIONに取り組んでリスニング力を磨きました。

次にぶつかった壁は「模擬国連」です。「模擬国連」の英語授業を受講した私は、筑波大学で開催されたTEMUN、続いて米国NYで開催されたNMUNに参加しました。1年生ながら張り切って参加したものの必死に事前準備したにもかかわらず思ったように議論に参加できず、悔しさが募りました。特に世界から集まるNYの模擬国連では、英語が第一言語ではない参加者も多く、そんな彼らが積極的に議論に参加して周りを巻き込んでいく姿をみて、自分とは何が違うのかを考えさせられました。

その後毎年夏に開催される『国際学生会議』（世界二十カ国以上から参加）にも実行委員として携わり、苦勞しながらも議論に参加できるようになると、そこで自分の知らなかった世界の現実に触れることになります。差別問題もその一つです。

コロナ禍では自分の体験を活かして 新たな活動へ

3年生では工学部のプログラムを利用してロードアイランド大学の研究室で3か月の研究インターンシップを経験しました。プログラミンの面白さを体感し、充実した留学でしたが、4年生ではコロナ禍に見舞われ、国際活動の機会も減ってしまいました。そんなとき岡山イノベーションスクールを知りました。多くの人にヒアリングして恋愛に消極的な草食系の若者が共感できるようなアプリを考案し、コンテストに挑戦しました。「多様な人々が差別なく幸せになつてほしい」という願いをこめたこのアプリに携わった経験は、ターニングポイントとなりました。

その後大きな出会いを経て「すべての人に、AIを。」をビジョンに掲げる株式会社を共同創業し、CTOを務めることになりました。卒業後はエンジニアとしての技術開発だけでなく経営や事業展開など初めてのことにも挑戦を続けるハードな日々ですが、これまで培ったさまざまな経験が今の私を支えてくれる力となっています。



履修アドバイザー制度

専任教員に加え、所属学部教員および教育推進機構英語系教員を履修アドバイザーとして配置し、専門教育との両立や英語学習や留学に関する相談に応じるなど、コース生の学びをサポートします。



留学を支援する奨学金制度

種類	金額 (派遣地域等により金額は異なる)	主な応募条件等
岡山大学 海外派遣学生支援事業 奨学金	5万円 または 3万円 派遣期間90日以上の研究留学(大学院生)の場合 40万円 または 20万円 返還不要	他の奨学金との併給不可(「研究留学」は併給可) 学業成績等の審査あり
日本学生支援機構 JASSO 海外留学支援制度	6~10万円 /月 渡航支援金: 16万円 (一定の家計基準または派遣期間を満たす者のみ) 返還不要	成績・家計基準の条件を満たす者 日本国籍もしくは永住権を持つ者 留学プログラムごとに大学から申請

※上記金額は予定です。変更になる場合があります。



OKAYAMA UNIVERSITY

グローバル人材育成特別コース

GLOBAL HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT

〒700-8530 岡山市北区津島中二丁目1番1号 岡山大学グローバル人材育成院(国際部留学交流課)

TEL. 086-251-8569 E-mail. global@adm.okayama-u.ac.jp

ぜひホームページをご覧ください。
コースの学習や海外留学体験レポートなど情報が満載です。
パンフレット掲載の5人のインタビューもHPでご覧いただけます。



URL
<https://global.okayama-u.ac.jp>